
パトリオット（愛国者）が転生する話

パトリオットで国土で愛国者

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パトリオット（愛国者）が転生する話

【Nコード】

N1469Y

【作者名】

パトリオットで国士で愛国者

【あらすじ】

感想受付始めました。

アンチは攻撃されやすいから戦々恐々としています。

12・6「愚か者たちはよく騒ぐ」をかなり加筆訂正しました。
チートオリ主が女キャラを全員手籠めにして管理局をアンチする作品を読んで思った

「管理局アンチをするなら国家で対抗しないと無理でしょう常識的に考えて、あとヒロインのためだけに力を行使するってどうよ。

出来る分でいいから、あまねく人々に、せめて自国民にも利益を享受させるべきじゃないのかな。」
ということでは実験的な意味もあって書いて見ることにしました。超タカ派アンチルートと穏健ルートの2つを書いてみようと思います。

主人公転生する

俺の名前は明智^{あけち} 治^{おさむ}。某国立大学の二年生で今日が20歳の誕生日だ。

いきなりだが、俺は自分の名前が結構好きだ。

明智 治からの「智」の字を取ると「明治」になる。

明治、俺が日本史の中で幕末に続いて好きな時代だ。

吉田松陰、坂本龍馬、高杉晋作の志を継いだ維新の志士たちが、小さな本当に小さな日本を近代化させ列強の仲間入りを果たした時代、司馬遼太郎の「坂の上の雲」の序文がまさに俺が明治時代を好む理由だ。

いろいろな歪みも確かにあったが、それ以上の意義が日本史上でも世界史上であったと思う。

司馬遼太郎といえば、俺は高校生時代、本当に司馬遼太郎にのめり込んでいた。

「竜馬がゆく」、「坂の上の雲」、「国盗り物語」、本当に心躍らせながら読み耽ったものだ。

それが切っ掛けになって世界史、日本史、政治・経済、近現代史に興味をひかれ勉強しました。

ただ、そのせいわからないが高校時代女子との接触があまりなかった。

男友達ならまあまあいたんだがな・・・。

主に理系奴らだ工学部とか理学部志望の。

そいつらからアニメや漫画を色々薦められて結構はまったりもした。かなりいい奴らだったよ、うん。

お、少々話がそれたか……。そんなこんな青春を経て20歳の誕生日を迎えた俺は友達とお祝いをした後、帰宅後自宅のベッドで就寝したはずなんだが、気がつくとき真っ白な空間にいた。

「此処はどこなんだ……。俺は家で寝たいはずじゃ……。」

「此処が何処かなんて事はどうでもいいことだよ。」

何処からかそんな声がした。

慌てて周りを見渡すが、360度何処を見ても地平線まで白い空間だ。

人っ子一人いない。

「君に話しかけているこの声が、何処から聞こえてくるなんて事もどうでもいいことだ。」

ついで言うとな僕が誰か知る必要もないよ。

君ただ僕の言うとおりにしてくれればいいだけだ。」

暫く何も聞こえなくなつた後に

「単刀直入に言うよ、君をこれから転生させる。特典は2つだけ、良く考えてね。」

転生？転生といったのか？あの転生か？二次小説とかでよくある。二次創作なら読んだことはあるぞ。薦められて。確か・・・、えっ、今俺が置かれている状況と全く一致するじゃん。

「そつだよ。」

転生する世界はどんな世界でもいいよ。

君が考えつくどんな世界でも無数に存在する平行世界の中には必ず存在するからね。

特典の数は増やしてあげないけど、危険な世界ほど特典の程度も大きくしてあげるよ。」

俺の思考って筒抜けなんだ・・・。

というか、俺は何でこんな現在進行中の摩訶不思議な状況のかなで落ち着いていられるのだろうか。

まあ、俺がそれだけ冷静ってことなんだろう。

「じゃあ、転生する世界はバイオハザードとhellisingとひぐらしのなく頃にと魔法少女リリカルなのは、kannon、clannad、けいおん、みなみけを合わせた世界で歴史は俺のいた世界と変わらない世界でお願いします。

特典は、ルルーシユのギアスとガンダム世界の技術すべてでお願いします。」

これぐらい危険な世界を合わせておけば、これぐらいの特典は認めもらえるよね？

因みに、どっかのオリ主みたいにハーレムを気付くつもりなんて無い。

「へー、魔力無限とか王の財宝とかじゃないんだ。以外だなー。」

いやいや、個人の力なんて組織の前では取るに足りないでしょ。常識的に考えて。

戦場のヒーローになって目立ちたい、崇められたい願望なんて俺にはない。

だいたい魔力無限とか個人技能的な魔法って社会の役に立つものだろうか？

その利益を享受できるのはそいつただ一人じゃないか。

魔法なんかより、普遍性があって万人が享受できる科学技術のほうがいい。

あと、kannonやclannadやけいおんを加えたのはあれだ。例えば、国を防衛することを誇りに思っている自衛官がいたとする。その人が街を歩いていて幸せそうに暮らしている人たちを見たとしてたら一層やる気が出るだろ。つまりそういうことだ。

「君なかなか面白いね。

そんじゃいくよー。」

あ、ギアスはカメラやモニター、鏡とかを通しては使えない、つまり相手の目を直接見ないと駄目な感じしておくからね。」

俺の意識はそこで途絶えた。

・
・
・
・
・

俺が意識を取り戻すとそこは、桜の木々の下だった。
それは満開のソメイヨシノだった。

目の前には純和風の家がある。どうやら此処は庭のようだ。

「うっ……」

唐突に、猛烈な頭痛と共に頭に情報が入って来た。

どうやらさっきの声の人物からのようだ。

その情報によると、

此処は俺の家で住所は東京都光坂町。

俺は某国立大学院を今年卒業した25歳。

現在平成四年、1992年の4月。

原作開始の時期については

バイオハザードは1998年

hellisingは1999年

ひぐらしのなく頃には1993年は舞台は岐阜県雛見沢

魔法少女リリカルなのは2004年舞台は神奈川県海鳴市

kanonは2006年舞台は北海道札幌市

clannadは2007年舞台は東京都光坂町

けいおんは2008年舞台は京都府京都市

みなみけは2008年舞台は東京都光坂町

ガンダム世界の科学知識と技術はこの家にあるパソコンの中に入っている

ということらしい。

光坂町は前の世界にあった瑞穂町とほぼ同じ位置にあるようだ。名前が違っただけみたいだ。

ひぐらしのなく頃には昭和五十八年ではないんだな……。

これらの頭に流れ込んできた情報を整理して俺は取り敢えず一息つこうと縁側から家の中に入り、台所で熱いお茶を入れて縁側で桜を見ながら飲む。

「さて、これからどうするか……。」

まずは、政治に食い込むことだ。

日本を動かしたいならそうするしか無い。それが常道だ。

二次創作にたまに出てくる自分の力をとにかく後先考えずに誇示したい馬鹿な奴なら特典に浮かれて武装蜂起とかするのかな。

そうだとしたら全く愚かとしか言い用がない。

わざわざ大きな混乱、犠牲を生む方法を取るなど、内戦が起こるだろうし在地米軍や中国だって介入してくるだろう。

ま、それはさておき問題はどうやって政治家に接触するかだな……。

数日後、光坂町の議員の一人に接触することに成功した。

後援会に連絡して、是非お会いして献金したいといったのだ。

つまりは陳情したいことがあるということだ。アポを取ったのだ。そこでギアスを掛けた。

「ぜひ町長にお会い出来るように取り計らってもらいたい。」

もちろん相手は快諾。

数日後に役所の町長室で面会する運びとなった。

そして、町長にはこうギアスをかけた。

「都知事にお会い出来るように取り計らってもらいたい。」と

もちろん快諾されたが、都知事ともなるとそうすぐには会えないよ
うで数週間待たされることになった。

まあ、そりゃそうだろう。

人口1200万人の日本の首都の首長なんだし。

今は1992年だから都知事は鈴木俊一氏か。なつかしいな。

ん、そういえば新宿の都庁が出来たのもこの頃じゃなかったけ？

平成4年 1992年 5月 11日

今日は都知事との面会の日だ。

現在、仲介役の町長と一緒に町長のセンチュリーで都庁に向かって
いる。

しばらくすると、去年落成したばかりの真新しい新宿の都庁が見え
てきた。

そう言えば、「バブルの塔」とかいつて叩かれてたっけ、俺は結構
好きなんだけどな。

・

・

・

・

今、仲介役の町長や秘書には退室してもらって都庁の都知事室で鈴
木氏と1対1で面会している。
そしてギアスを掛ける。

「宮沢喜一首相に会えるように取り計らってもらいたい。」

・
・
・
・
・

平成4年 1992年 7月 1日 首相官邸

首相に会うとなると数ヶ月待たされるかと思っただが、意外と早く会うことが出来た。

都知事と一緒に首相官邸に行き今通された部屋で宮沢首相を待つている。

因みに官邸は昭和に建てられたあの旧官邸だ。新官邸は21世紀に入ってから立てられたからな。

数十分後宮沢喜一首相が現れた。

俺を見て驚いた顔をしている。そりゃそうだろう。

都知事にあつて欲しい人物がいると言われてきたらこんな若造だったんだからな。

宮沢首相の人となりはわからないが、戦前の生まれだしこれだけ歳の差があるのだから挨拶は懇切丁寧に済ませた。

ギアスを掛ける前に怒って退出でもされたらかなわん。

そして、都知事に退室してもらった後ギアスをかけた。

ただ、今回かけたギアスは今までかけてきた内容とは違う。

俺は「私の言うことを何でも聞いてもらいたい」とギアスをかけた。

恐るべき集団主義と超弩級大規模補正予算

平成4年 1992年 8月 1日

永田町、いや日本に激震が走った。

突如、宮沢喜一首相による衝撃的な内閣改造行われたのだ。

俺が政治に介入しなかった場合に12月に行われていただろう史実通りの内閣改造なら此処まで全国を驚かせることはなかっただろう。

その内閣改造の衝撃的な点の一つは、若干25歳の大学院を卒業したばかりの俺が外務大臣兼通商産業大臣に就任したからだ。

普通なら野党どころか与党からも反発が出るだろうが、与党自民党からは全く反発が出なかった。

それぞれの派閥の上位メンバーにもギアスをかけたからだ。

ギアスの内容はこうだ

まず最初に、「死ぬまで俺に従い続ける。」と行って

「自党から選出された首相を補佐し、日本国の国益を第一に追求し、地元への意図的な利益誘導、私利私欲を捨てる。」

これによって自民党内では全く反発はなくなつたし従来の派閥対立もなくなった。

史実では来年の6月に与党内の造反もあつて野党が提出した内閣不信任決議が可決されたが、これで党内の造反により不信任決議が可決されることもないだろう。

「人事は首相の専権事項であるし、首相を支持する。」

各派閥の領袖は口をそろえてそういった。
派閥のトップたちがそういう以上与党内からは全く反発が出なかった。

そして改造内閣の正式な組閣後首相は本会議の演説でこの人事以上の衝撃的な発言をした。

「これより、このバブル崩壊に因る不況を解決する起死回生の超抜本的政策を発表します。

・
・
・
バブル崩壊後のこの平成不況の根本原因は銀行の不良債権であります。

政府としてはそれを解決するために公的資金を注入し、景気対策のために大規模な公共事業政策実施するべきであります。現在我が国には財政的な余裕がありません。

これ以上国債を発行することもはのちの世代への大きな負担となる上に、国債発行でまかなえる金額をはるかに上回る資金が今回必要であります。

故に、今回は国民の協力で今回の経済危機を乗り越えるべきであると私は考えます。

国民の皆さん、皆さんがお持ちの個人資産をぜひ国に無償で提供していただきたい。

ただ、これは強制ではなく任意であります。

現在、国民の皆さんがもつ個人資産の合計は金融資産だけでも約1500兆円、その内の半分の約700兆円だけでも提供していただければ日本経済はよみがえるとお約束いたします。

中間層の方々は提供しなくて結構です、富裕層の方々中心にご協力

願います。」

これまた、野党やメディア、そして海外からも馬鹿馬鹿しい、集まるわけがないと大いに叩かれた。ま、普通に考えればそうだろう。

だが、集まっちゃうんだなーこれが。

なんせ、7月に首相にギアスを掛けてから俺は首相の後ろ盾を得て不眠不休で全国の個人資産家、大地主、大株主、政治家、高級官僚（汚職をしている場合はギアスで資産の提供だけでなく日本への忠誠、私利私欲ではなく公に尽くすことを命じた）、金持ちの団体（日本医師会、宗教法人、「や」から始まる自営業の方々の集まり、某ギャンブル業界etc）、銀行、企業を回ったのだ。

首相の演説でもあったように中間層にはお願いしていない。資産の殆どって富裕層が持っているからな、それに中間層から取ったら消費が更に落ち込む。

銀行や企業では頭取や社長重役たちに彼らの個人資産をほぼ譲渡してくれるようにギアスを掛けて回った。

企業や銀行の法人としての資産を取ったら逆効果だ。

銀行は不良債権、企業は業績悪化や貸し渋り、貸し剥がしで資金繰りに困っているのだから。

衝撃の首相の発表の翌日全国から次々と資産の譲渡が行われた。

その額、金融資産だけでなく土地や株式、海外資産を含めて二週間で1200兆円。

首相の発表は国民だけに呼びかけたものだったが、俺はお金持ちの団体の方にもギアスを掛けて回っていたのでこんなにも集まった。

中でも一番持っていた団体は宗教法人（宗教法人の中でも一番持っていたのがS学会）とパチンコ業界だった。

いやー、ありがたや、ありたや。

首相の発表から三週間後、最終的な譲渡額の発表が行われた。その額なんと1500兆円。

この結果に国民だけでなく海外特に欧米からも驚きの声が上がった。

「恐るべき集団主義！」

「我々の国では考えられない！」

「本当に資本主義国か？やっぱり日本は世界で唯一成功した共産主義だ！」

「自主的、しかも富裕層がというのが信じられない！」

「日本人はどれだけ政府を信用しているんだよ！」等々・

首相はこの最終額の発表会見で大して驚いた様子もなく

「国民の皆様大変ありがとうございます。」

と淡々と礼を述べた。

因みに、最終額の発表前の8月15日の終戦記念日には閣僚全員で靖国神社への参拝を行ったのだが、野党と某新聞社に案の定騒がれた。

最終額の発表から数日経った8月中旬

また激震が永田町に走った。今年何回目だろうか？

前日、史実通り自民党最大派閥の有力議員が東京佐川急便事件に関与して5億円を受け取っていたことが新聞で報道されたことを受け首相が会見を開いたのだ。

宮沢喜一首相は「党の一新」・「党の粛正（粛清じゃない）」を掲げて今現在疑惑が持たれている議員のみならず新たに持たれた議員は今後の検察の捜査で判明した事実に基づいて党として重い処分を下すと発表。

これに今回新聞ですっぱ抜かれた某有力議員を含む自民党の全ての派閥と有力議員が同調。

両院議員総会で

「疑惑が持たれている議員若しくは新たに持たれた議員は、積極的に検察の捜査に協力し検察の捜査で判明した事実に基づいて総裁から党としての処分を受けることを甘受する。」
というコンセンサスを形成させた。

翌週、からその有力議員の事情聴取が始まった。

ギアスで命じておいたので洗いざらいゲロしてくれた。最終的に自民党の国会議員・地方議員・首長から10人、社会党からも数人関わっていることが判明し、全員が起訴された。

宮澤首相は10人全員を党からの除名処分を言い渡し、議員辞職勧告を出した。

全員が先のコンセンサスに基づいてこれを受け入れ謝罪し、議員辞職を行った。

党をギアスで纏めていたから擁護派・検察との徹底抗戦派も出てこ
とがなかった。

また今回テレビ業界のトップたちにギアスを掛け、論調を「自民党
バッシング・政治不信を煽るようなもの」から「自民党の自浄能力」
に重きを置くように命じた。

新聞社はそのままにしておいた。

平成4年 1992年 9月 3日

俺は今政府のチャーター便でロシアのモスクワに向かっている。8
月からロシア大統領エリツィンとへ会談を打診していたのだ。

狙いは北方領土、要するに北方領土問題を解決して支持率をあげよ
うということだ。

予想はしていたが、「大院卒の若造が大臣なんぞ」と国内では俺へ
の反発や人事を行った宮澤首相への反発が少なくないのだ。先の汚
職事件のこともあるしな。

同日衆議院に

「バブル崩壊を克服するため及び地方格差是正及び日本の新成長分
野育成のための補正予算案」

「中央省庁等改革基本法案」

「特殊法人改革法案」

「改正公職選挙法」

「スパイ防止法」

が提出された。

「バブル崩壊を克服するため及び地方格差是正及び日本の新成長分野育成のための補正予算」の骨子はこうだ

・不良債権を抱えた国内の金融機関（住専などのノンバンクも含む）へ総額150兆円公的資金の注入

国内金融機関が保有する約200兆の建設国債を除く国債を今後5年間で一気に償還。

・全国新幹線・鉄道網・高速道路網の整備促進などの公共事業100兆円

・科学振興・宇宙開発促進総額200兆円

他にもインターネット回線（ADSL・光ファイバー）の普及なども盛り込まれて予算総額は655兆円。

これほど莫大な予算を組んだのは、早く市中に資金を戻したかったからだ。

特に金融機関に150兆もの金を注入したのは約60～80兆円と言われる不良債権問題を早期に解消し民間へどんどん資金を貸し出してほしいからだ。

だからそこ国債も一気に召喚することにしたのだ。これで市中の通貨流通量が増えるだろう。

これと連動する形で金融機関の規制緩和を行い、金融機関同士の合併を推奨しメガバンクの形成を促した。

また政府・日銀の金融政策も緩和した。

公共事業では都市と地方の格差を解消するため地方開発と都市開発の両方を推進するものだ。

鹿児島から北海道まで新幹線、全国高速道路網の完全開通を2001年までに開業することを目指している。

科学振興・宇宙開発事業の促進については後述する大日本宇宙科学エネルギー資源開発公社で一元的に行う。
今回の予算200兆円もだいたいこの公社に投じられることになった。

「中央省庁等改革基本法案」の内容はこうだ。

- ・省庁を統廃合し数を縮小
- ・新たに教育庁を部科学省の下に設ける。
- ・科学技術庁は文部科学省傘下のJAXSA（宇宙航空研究開発機構）や日本原子力研究開発機構、理化学研究所などといった科学技術開発系の法人、経済産業省傘下の石油天然ガス・金属鉱物資源機構などのエネルギー資源系法人のと統合して大日本宇宙科学エネルギー資源開発公社とした。これは国営企業で株式の100%を経済産業省大臣が持つ形になる。
- ・防衛庁を防衛省に昇格

・国土交通相傘下だった海上保安庁を省に昇格した防衛省の傘下に移動

・国会公安委員会の情報組織（防諜・諜報）としての機能を強化

中央省庁再編前の1府22省庁

府（1）：総理府

省（12）：法務省、外務省、大蔵省、文部省、厚生省、農林

水産省、通商産業省、運輸省、郵政省、労働省、建設省、自治省

委員会（2）：国家公安委員会、金融再生委員会

庁（8）：総務庁、北海道開発庁、防衛庁、経済企画庁、科学

技術庁、環境庁、沖縄開発庁、国土庁

中央省庁再編後の1府12省庁（國務大臣を置く不省庁が全部で12ということ）

府（1）：内閣府

省（11）：総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省

庁（1）：国家公安委員会・警察庁

「特殊法人改革法案」は増えすぎた特殊法人・国営企業を廃止もしくは民営化・独立行政法人化するものだ。

大雑把に言つとこんな感じだ

- ・ 林野庁の国有林事業は維持
- ・ 高速道路公団民営化
- ・ 政府系金融機関を日本政策金融公庫に一元化

「改正公職選挙法」は、政治資金規制策や2000年以降選挙のインターネット利用を解禁し、金のかからない選挙を実現するのが骨子だ。

「スパイ防止法」はそのまんま民間の産業スパイ、国家のスパイを区別なく取り締まるためのものだ。

野党から猛反発が出た。特に社会党・共産党が猛反発して国会は大荒れ、連日乱闘が起きたが、与党の一致団結によってすべての法案を約二週間審議で強行採決した。

ロシアより愛をこめて（前書き）

ロシアと言ったら思い浮かんだタイトルです。

ロシアより愛をこめて

1992年 9月5日 午前7時

俺は今モスクワ市内のホテルに居る。

「どうしたものか……。」

そして、新しい懸案事項を少々抱えていた。

昨日は、ようやく長い長い飛行機の旅を終えてロシアに到着し、俺は、記者会見や会談は明日以降の予定なのでホテルへ直行して書類仕事を終えた後就寝した。

此処までいい。だが問題はここからだ。

・
・
・
・

俺は気づくと例の白い空間にいた。

その事実を認識するやいなやあの声が俺の頭に直接伝わってきた。

「やあ、なかなか頑張ってるみたいだね。なかなか楽しませてもらってるよ。」

でも、ちょっと上手く行きすぎだと思っただ。

ということでききなりなんだけど、ギアスを制限させてもらうよ。

具体的に言つと外国人にギアスが使えるのは今回の一回だけにする

からね。

後日本人に使えるのも2004年のなのは原作開始までにするから。

それ以降は全く完全に誰にも使えないから気をつけてね。」

そして、俺が口を開いてモノを言う前に俺の意識は覚醒した。いや、覚醒させられたのか？

・
・
・
・

と言うわけだ。

さてどうしたものか？

まあ、此処はこの事実を受け止めた上で次の行動計画を練っていくしか無いな……。

カタールから融資を受けたかったのにな……。

それから一週間後

1992年 9月12日

ロシア連邦 首都モスクワ クレムリン大統領府 午後8時

現在俺はモスクワのクレムリンにある大統領府で今回の会談の成果を内外のメディアに発表すべく記者会見に望んでいる。

因みに俺は入閣以来ほとんど和服で公務を行なっている。

だから今の俺の格好は紋付袴、紋は俺の家紋じゃなくて1945年

から日本国の紋章として使用されている五七桐花紋だ。

海外じゃ日本文化への関心が高いんだから政府の人間はもうちょっとこういうアピールをしてもいいだろうと思っただけで入閣以来こうし始めたんだが、最近ではすっかり気に入って、プライベートでも和服ばかり着ているんだよな。

お、そういうしている内にそろそろ会見開始の予定開始時間だろう。懐から懐中時計を出して時間を確認すると予定時刻の一分前だった。それから、秒針がちょうど一周するのを見計らって記者会見を始めた。

「日本国外務大臣 明治治です。

今回のエリツイン大統領との会談の成果を発表したいと思います。

今回、ロシアと我が日本は、現在ロシアが占領している北方領土問題及び千島列島全てを日本に返還し、日本は樺太全土をロシア領として承認することで合意しました。

また、ロシア側がソ連の対日参戦、シベリア抑留、北方領土占領を公式に謝罪した後平和友好条約を結ぶことで同意しました。」

下手くそな如何にも日本人な英語でそう告げた。

見事に会場の全メディアがポカーンとしている。

数秒後、俄に会場がどよめいた。

そしてフラッシュの嵐がいつそう激しくなる。

その気持ちわかる、わかるぞ、多分

「未だにカリニンググランドにも居座り、ソ連時代からアメリカに勝るとも劣らずエゴを押し通しまくるあのロシアが謝罪した上に領土返還だなんてそんなまさか・・・。」
とか思っているんだろう。そうだろう。

この会見から2日後、俺は日本に凱旋帰国した。

先の汚職事件には厳しく対処し、歴史的な外交成果も上げた。

そして、テレビにはそれを取り上げさせる。

これで俺の株と首相の支持率も上がるだろう。

ところで、ロシアが対日参戦について謝罪したのだから日本絶対悪史観でソ連（今はロシアだけ）大好きの左翼の人たちは一体どう反応するのだろうか？

たぶん、いそいそと頑張って奇妙奇天烈なロジックを作り上げた上で、自虐史観を維持するのだろうか。

「日本の被害ばかり強調するのではなく、加害の面にも眼を向けるべきです。」ってか？

公社始動

1992年 平成4年 9月 18日

日本に帰って来ました。

メディアと社会党、共産党、左派団体（日教組・日弁連・労組）は先日提出した予算と法案の件で連日大騒ぎでしたが一応長年の国境問題を解決したということと左寄りの新聞でも取り上げてくれました。

テレビは積極的に今回の領土問題解決を取り上げている。

というか、ギアスを使って積極的に取り上げさせている。

テレビでは「政界の麒麟児」とか言われっちゃんだよな。

いやー恥ずかしいな。

これで少々強権的に進めても歓迎してくる層も少しは出てきただろう。主に保守派から。

俺が日本に帰ってきてから二日後予算と法案は強行採決で可決された。

1992年 平成4年 10月 13日

大日本宇宙科学エネルギー資源開発公社、今年の9月に異例のスピードで成立した補正予算と特別法で成立した日本のエネルギー資源の開発・確保、宇宙開発、科学各分野の基礎・理論研究・技術開発一手に担うを国営企業だ。

この旧科学技術庁、その傘下の多数の特殊法人、独立行政法人、委員会を統合して今日正式に誕生した大日本宇宙科学・エネルギー資源開発公社は経済産業大臣が公社の株の100%を持つというつまり経営権をもつという形になっている。

ということと、経済産業大臣の俺主導で早速公社の方針を策定した。

一つ目は、統合した旧団体の無駄な人員（顧問とか委員）や不必要な土地や建物などの資産は処分だ。
多くの特殊法人、独立行政法人を統合して誕生したから公社としての体が大きすぎる。

unnecessary部分 is 削ってスマートにしなくてはならない。

- ・ エネルギー資源開発部門
- ・ 宇宙航空研究開発部門
- ・ 生命科学・医学部門
- ・ 化学研究部門
- ・ 物理学研究部門
- ・ 数学研究部門
- ・ スーパーコンピューター研究・開発部門
- ・ 海洋研究研究部門
- ・ 地質学研究部門
- ・ 天文学研究部門
- ・ 各境界領域連携研究部門

と11の研究部門を設けてそれぞれの本部と各部門を統括する公社の執行機関を新しく建設する公社本部ビルに入れることにした。

2つ目は、公社本部ビルつまり公社の根拠地の策定。

これについては本部は茨城県つくば市に置きこれから新規に建設する主要研究設備及び機関もつくば市およびその周辺を中心に整備していくことに決定した。

今までも発射後の衛星の管制施設は筑波に置かれていたし、既に筑波大学や多数の官民の研究機関が置かれているつくば市の学園・学術都市という都市計画にも合致する。

(これに伴い、審議段階であったつくばエクスプレスの計画を着工決定として今回の補正予算の公共事業計画に追加で盛り込んだ。)

3つ目はロケット打ち上げを行う宇宙基地の問題だ。

既に、種子島に種子島宇宙センターが整備されているので、それを増強することにした。

ロケット打ち上げにおいては赤道に近いほど地球の自転エネルギーのお陰で燃料の節約ができるので沖縄に新しくロケット打ち上げ基地を整備するという案もあった。

しかし今から用地買収をして施設を整備するのは金と時間がかかりすぎるし、既存の種子島宇宙センターの設備と種子島の道路や港湾などのインフラを増強することで充分今後のロケット打ち上げに対応できるとの見通しが立ったので移転の話は無しになった。

4つ目は海底資源開発だ。

九州鹿児島から紀伊半島の太平洋沖、日本海の海底にはには大量のメタンハイドレートが眠っているとされている。

また日本の排他的経済水域内の海底にはメタンハイドレートの他にもマンガン団塊やコバルト・リッチ・クラストなどの希少資源が大量に埋蔵されている。

しかし、それらの資源は超高压の深海に存在するため、もしくはその性質のため現在の採掘技術では商業ベースでの採掘が非常に難しい。

故に、採算の取れる採掘技術の開発をすすめるプロジェクトチームを立ち上げ予算を投下した。

5つ目はマストライバーの建設計画だ。

マストライバーは沖縄本島最南端糸満市を建設地として10年後の初打ち上げ目処にしたマストライバー及びその周辺のインフラ整備計画を策定した。

インフラ整備の柱は那覇港などの港湾設備の増強と那覇空港の二本目の滑走路建設及び道路の整備だ。

今はロケット打ち上げが宇宙への移動手段だが、将来の宇宙への輸送の主役はマストライバーや軌道エレベーターだ。

そうなれば、将来現実扱う物流量は増大する。このインフラ整備はそれを睨んでのことだ。

マストライバー施設は関西国際空港のように海上に建造する予定だ。具体的に言うと、海上に人工島を造成し、整備場・ターミナルはそこに建設し、レール部分は長大な距離必要となるから人工島から海上へ向けて栈橋を建設してレールを敷設するのだ。

これは内陸に作るより良い。

なぜなら、内陸に作ると騒音問題が絶対が発生するし、沖縄本島には平地が少なくそこに人口が密集しているので土地買収をすれば絶対に時間とカネがかかるからだ。

下手したら、山まで開かないと土地が足りないかもしれない。

5つ目は軌道エレベーター計画

軌道エレベーターは将来マストドライバーと並んで宇宙への輸送手段にする予定だ。

地上側の発着拠点^{アース・ポート}は、ロケット打ち上げ施設やマストドライバー同様に赤道に近いほど地球の自転の遠心力のお陰でケーブルにかかる張力を小さくできるので最適である。

また、ケーブルの振動や熱による伸縮への対策、低軌道の人工衛星や大きなスペースデブリとの衝突の回避などのために、アース・ポートは地上に固定するのではなく海上を移動可能なメガフロートとすることが望ましい。

ということ、アースポートは移動可能なメガフロートを沖ノ鳥島周辺の日本の排他的経済水域内場合によってはその付近の公海を状況に応じて移動することを前提としてその海上に設置することにした。

パラオやオーストラリア沖のほうが地理的には最適だったのだが、あそこは日本から離れすぎているし間に他の国がある。ということはシーレーンを維持しにくくなる。

それに、この計画ではこれを機に沖ノ鳥島を物資集積所もしくはアースポートまでの中継地点として整備して、日本の排他的経済水域を維持する上で大事な島であるこの沖ノ鳥島をどんどん開発して島として扱うことを既成事実化するという狙いもある。

日本最南端の島、沖ノ鳥島は、満潮時は島がほとんど水没してしまう殆ど岩のような島であるが、この島のお陰でこの島から半径200海里の日本の排他的経済水域が確保されているのだ。

沖ノ鳥島はサンゴで形成されていてそのなかで満潮時にも海上に顔を出す部分は人が一人立てる程度の広さだが、干潮時に姿を表す環礁を全て埋め立ててしまえば南北約 1.7 km、東西約 4.5 km、周囲約 11 km になる。

これはいささか卑怯な手ではあるが、中国も南沙諸島でやっていた

手だ。

国際社会なんて所詮海千山千の狸共の化かし合いよ。

今此処で島として開発しなければ行く行くは並に侵食されて消えたり、近い将来他国に付け入る隙を与えるだけだ。

6つ目は受精卵段階での遺伝子操作の研究

つまりはコージェネーターの研究だ。

他にもi p s細胞、e s細胞、再生医療目的の体細胞クローン技術や幹細胞の研究プロジェクトも立ち上げた。これまで埼玉県和光市や播磨、横濱、神戸にあった理化学研究所のこれらの生命科学系研究所は旧帝大に譲渡して、つくば市ないに大規模研究所を複数整備することにした。

これら6つは全て発表したけど、6つ目の生命技術に関してはコージェネーターなどの研究とは明らかにせずにただ単に研究所の再編ということだけにした。

海外の特にキリスト教の奴らから騒がれそうだからな。

まあ、機が熟したらいずれ明らかにするけど。

あと、マストドライバーと軌道エレベーターは国内外で少々注目されたけど計画が遠大すぎるとか、100年掛かって出来るかどうか言われた。

まあ、Eカーボンとか超電導体の技術の発表とかはしていないからな。

沖縄の施設も技術開発のための実験施設と発表してたしな。

技術の発表は少なくとも施設が完成して日本がアメリカから自立してからだ。

「未来への投資」と国内外に向けて何回も言い続けた。

アメリカといえば近年アメリカのパパブッシュは日本の市場開放や規制緩和を求めて圧力をかけてきている。

具体的に言くと日本的慣行の廃止、土地税制や大規模店舗法、公共投資の拡大などだ。

「公共投資の増大」はこれ以上対日貿易赤字を増やしたくないアメリカが日本に輸出産業の育成ではなく公共投資に金を回せといってきたものだ。

また、世界に流出する多額のジャパン・マネーがドルの影響力を希薄化させていることを懸念し、ジャパン・マネーを日本国内に閉じ込める狙いがあったとも言われる。

今は失効になつてているが数年前にはスーパー301条なんてものも作られ日本の国産O S トロンは潰されてしまった。

まあ、アメリカの要望に答えるためじゃないが公共投資は先の補正予算で仕込んだし、市場開放と規制緩和には史実と同じように若干応じることにした。

だが、これ以上は緩和するつもりはない。

仮に緩和するとしても地域の小規模小売店同士で共同で仕入れをさせて価格競争力をつけさせる等の対策を行なつてからだ。

史実では大店法は此処を境に年々緩和されて行って全国の商店街が潰れてシャッター通りができていった。そのような事にならないようにするが、消費者の利益も考えて日本風の合理化で価格が下がるようにしないといけない。

例えば、その地域の農家による集団農業を進め農地の大規模化を促進したり、その地域の漁師で大型漁船を共同所有しての漁業の大規模化などだ。

憲法改正に向けて

平成4年 1992年 10月18日 日本国 茨城県 つくば市

今日は公社本部施設の起工式。

俺と首相もちろん出席している。

「えー、皆さん今日はお集まりいただき有り難うございます。

このつくば市をはじめとし茨城県、千葉県の複数の自治体に集中的に自然科学・先端技術の研究・開発機関を整備し、その各自治体をつくばエクスプレスで東京まで繋ぐというのが今回、経済産業省及び大日本公社、政府が一体となって策定した計画であります。

そして今日、我が国に最古の和歌集である万葉集にも詠まれ歴史に名高きこの筑波山の麓にあるつくば市に大日本公社の本社施設を起工する事は今回策定した計画の記念すべき第一歩であります。

また、つくばエクスプレス計画のほうも現在滞り無く進んでおり来年から一部区間の着工が見込まれています。

この一連の計画の完遂によって、この地域は理想的な産学官連携のモデルとなるのみならずひいては次世代日本の産業を牽引する非常に重要な……」

このあとは関係者への激励や労いを述べて挨拶を締めくくった。

さて、金融機関の不良債権問題も解決したし、公共事業もやっている、国債の一斉償還・金融緩和で市中の通貨流通量も増やした。

次にすべきには、憲法改正だな。

自分たちで自国を防衛できないから日本には米軍基地を置かざるおえないし、米国の強い影響下にある。

このまま防衛の対米依存を続けていては日本の自主的な外交もできないし、宇宙開発を進めていく過程で米国の意向を受けざるおえない事態になるかもしれない。

ということであんなに近い考えを持つ憲法学者を各大学から集めて私設機関として憲法調査会を設けた。

臨時国会もそろそろ閉会するから時間もあることだし年が明け前の改正案完成を目指して頑張るとするかな。

平成4年 1992年 11月15日 東京都光坂町 明智邸

広い座敷に足が短いテーブルが5つ組み合わせられてコの字型に配置されている。

議長の席に座るのはこの会議を主催している俺。

俺の後ろには掛け軸と日本刀が飾られた床の間と壺や本、骨董品が置かれている違い棚がある。

座敷から庭に目をやれば、紅葉したもみじが真っ赤に色づいている。数日前まで、まだ赤になりきれしていない葉も多かったが、今はもうほとんど全ての葉が真っ赤だ。

「それでは第23回憲法調査会を始めます。」

庭の鹿威しが鳴った直後を見計らって会議の始めの言葉を述べた。

「今日は今まで決めた大枠の確認ということによろしいですね。それでは……」

前文 全面改訂

- 第1章 天皇（第1条～第8条） 全面改訂
- 第2章 戦争の放棄（第9条） 全面改訂
- 第3章 国民の権利及び義務（第10条～第40条） 一部改定
- 第4章 国会（第41条～第64条） 一部改定
- 第5章 内閣（第65条～第75条） 変更なし
- 第6章 司法（第76条～第82条） 一部改定
- 第7章 財政（第83条～第91条） 変更なし
- 第8章 地方自治（第92条～第95条） 変更なし
- 第9章 改正（第96条） 変更なし
- 第10章 最高法規（第97条～第99条） 変更なし

第一章 天皇 は全面改訂。

天皇を日本国の元首としての地位を明記。

天皇の元首としての地位はイングランド王室の「王は君臨すれども統治せず」に習った立憲君主と規定。

天皇の国事行為にはこれ迄の重要役職の任命の他に祭祀を含むと明記。

英国王が英国国教会の首長であるように、天皇は神道の首長であると明記。

第二章 戦争の放棄 も全面改訂

第二章は「戦争の放棄」から「安全保障」とし

侵略戦争は認めないが自衛戦争は認めると明記し

日本国の独立・自存、日本国民の生命財産を守るために自衛軍を組織すると明記した。

第3章 国民の権利及び義務 は一部改定

幸福追求権を削除して、新しい人権を具体的に明記した。

政教分離規定に関しては、従来の規定に加えて宗教法人による政党の結成の禁止、教義やほかの手段を用いて信者に特定政党の支持を強制してはならないとした。

神道・仏教などの歴史的建造物・無形文化財・伝統芸能また、天皇の国事行為などへの援助は特定宗教への特権に当たらないと明記した。

労働組合も組合員に特定政党への支持を強制してはならないとした。

また、カルト宗教を取り締まれるように「公共の福祉」の規定を拡大した。

第4章 国会 も一部改定

参議院を廃止した。

参議院は55年体制の進展に連れて、政党化が進み衆議院のカーボンコピーと化して当初の目的である慎重な審議が形骸化しているし

金の無駄である。

ねじれ国会になったら審議が遅滞するからだ。

第6章 司法も一部改定

違憲立法審査権を憲法裁判所による抽象的違憲立法審査性とした。つまり、法律などが違憲かどうかは憲法裁判所を設けてそこが具体的事件に関係なく抽象的に審査するということだ。

軍法会議の設置を認めた。

これは軍を保持している国家なら当たり前のことだ。

軍というのは規律がなければただの暴力装置だ。

規律を維持するためにこそ軍法会議は近代国家において必置なのだ。

「……改正案の大枠は此の様にすることです。よろしいですね？」

「……異議なし。」

「はい、これで大枠は決まりました。

皆さん10月から今日までほぼ毎日お疲れ様でした。

しかし、これからが最も大事な詰め作業です。年末返上で頑張りますよ。」

今のこう言った俺の顔は、相当疲れている顔だと鏡を見なくとも自覚できるた。

委員の先生方も本当に疲れている顔をしている。

今現在、CLANNADの舞台になる光坂周辺には米軍横田基地がある。

なんとしても自主防衛を実現して返還を実現させなければならない。異国の軍隊、それも日本で裁くことのできない彼らをのさばらせてなるものか。

沖縄では最もそれがひどい事態で起こっている。

だが、左翼たちの「そもそも軍隊がなければこんなことには……」には賛成できない。

世界政府なるものができない限り、この国際社会では自国を守るための軍隊は必要なのだ。

主人公設定

明智治あけち おさむ

日本国東京都光坂町出身

昭和42年（西暦1967年）7月12日生まれ 25歳

昭和61年 関東の某国立大学入学

平成2年 大学卒業後大学院に進学

平成4年 大学院卒業、修士課程修了。

民間から的大臣として第2次宮沢喜一内閣に入閣、通産大臣兼外務大臣に就任。

容姿は涼宮ハルヒの憂鬱のキョン。見た目は平凡。前世からの愛国者。

ただし、そんなに急進的ではないし、日本人に絶望してもいない。憲法改正案の作成際して、制限選挙（例えば、大衆は踊らされやすいから選挙権を大卒者に限定するとか）の明記などをふと考えたが、自分で心中で一笑に付した。

特典：絶対遵守のギアスとガンダム世界の技術。

ギアスが使えるのは2004年まで。

明智から一言

「二次創作で主人公で個人で勢力張って無双する主人公（例えば、時空管理局が気に食わないオリ主）とかいるけど、技術チートやるにしても俺みたいに国家の力を利用して、膨大なヒト・モノ・カネを注ぎ込まないと実際無理じゃないのかな？」

年が明けて、平成5年通常国会幕開け

平成4年 12月31日 午後8時 東京都光坂町 明智邸

ども、明智治です。

今日の午後3時によやく憲法改正案が完成しました。年末返上で頑張っていたいただいた先生方は夜は家族と紅白歌合戦を見て過ごすということで足早に帰っていかれました。本当にお疲れ様です。

よし、年が明けて1月になったら直ぐに通常国会が開かれる。

来年度予算を提出した後直ぐに、衆参両院による憲法改正の発議と憲法改正における国民投票のための国民投票法案を提出しよう。

それと、来年の通常国会に提出する平成5年度予算には対中・対韓ODAを盛り込まない方針だ。

この予算案を正式に提出する前、通常国会の招集と同時に官房長官に次のような声明を出してもらうつもりだ。

「尖閣諸島は我が国固有の領土である。

それは長年に渡って国際社会が認めてきた事実である。

しかるに、中国政府は尖閣諸島近海に大量の石油天然ガスが埋蔵されていると分かるやいなや不当な領有権主張を始めた。

中国政府は我が国固有の領土である尖閣諸島への領有権主張をやめて謝罪せよ。

さもなければ、対中ODA、を廃止する。

これは閣内です承のとれたことである。

また、竹島も我が国固有の領土である事は明白である。しかるに、

韓国政府は昭和27年に一方的に李承晩ライン境界線を引き竹島を不法占拠し続けている。

また、韓国側が勝手に引いた李承晩ラインを超えたとして44人の日本人を殺傷し、4000人を抑留した。

これは、許されざる暴挙である。

韓国政府は我が国固有の領土である竹島を速やかに日本に明け渡した上で、今までの不法占領と我が国の漁民に卑劣な暴力を用いたことを謝罪せよ。

さもなくば、対韓ODAを廃止する。

これもまた、閣内了承を得たことである。」

まあ、中国も韓国も日本の要求を飲むことは絶対にならないだろう。

もし、そんな事したら長年の反日教育の成果で革命か暴動が起きる。

だが、今はまだ中国・韓国の軍事力は日本に比べれば赤子のようなもの、今が好機だろう。

よし、他にも考えていることはあるが後は年が明けての国会からだ。取り敢えず今は、コタツに入って紅白でも見ておこう。

紅白が終わってゆく年くる年をちよつと見たら、俺は1月5日まで
の初詣の旅に出発する。

まずは、東京都内靖国神社と明治神宮に初詣して東海道を下って静岡の三嶋大社、で御殿場市から富士山の初日の出を見る。それから愛知の熱田神宮に参拝して三重県に入り伊勢神宮に参拝してその後京都の嵐山にいつて予約してある温泉旅館でまったりと過ごすのだ。前世の修学旅行以来見ていない清水寺・知恩院・金閣・銀閣・平安神宮・大徳寺・吉田神社・賀茂神社・伏見稻荷大社などの京都の寺社仏閣も巡り5日に東海道新幹線で東京に帰るといふ計画だ。

正月ぐらい旅行して楽しんだってバチは当たらないだろう。

俺は8月の入閣前から全国の資産家へのギアス掛けの旅をして、入閣した後はロシアへ行ったり、11月までの臨時国会や大日本公社の仕事、そのうえ憲法改正案まで作ったものだから個人的な時間をほとんど持てなかったのだ。まあ、それは望んでやっていることなのだから別にいいのだが、流石に少し疲れた。

全国の由緒ある神社で来年一年の無病息災と日本の繁栄を祈願して、嵐山の温泉でゆっくり休もう。

・
・
・
・

平成5年 1月18日 日本国 東京 永田町 国会議事堂

先日通常国会が召集され、今日は通常国会の開会式だ。

この開会式においては、天皇陛下がご出席されお言葉を賜ることになっている。

そして、いま現在進行形で陛下のお言葉をたまわっているのだが、いつもように共産党はこの開会式に出席していない。

共産党に権威と権力を集中させる共産主義体制を目指し今なお民主集中制を捨てていない日本共産党であるから日本国の象徴としての天皇陛下の権威を認める訳にはいかないのだろう。

しかし、東欧革命が起こり、東西ドイツ統一が果たされ、ソビエト連邦が崩壊した今、共産主義なんてものは完全に「オワコン（終わったコンテンツ）」ならぬ「オワロギー（終わったイデオロギー）」だ。

何時までそんな馬鹿げた思想にしがみつುತ್ತつもりなのだろうか？
たしかに資本主義下で発生する所得分配の格差などは発生するが、
資本主義経済の枠内で修正していけばいい。所謂、修正資本主義・
混合経済だ。

ま、ア力共の事を考えるのはもう止めよう。
今は陛下のお言葉に耳を傾けなければな．．．

．．．．．

開会式のあと今年初めての激震が永田町に走った。

初詣・初笑・初夢ならぬ、初激震だな。何故、初激震となったのか
というそれは勿論、あの声明が発表されたからだ。しかし、社会
党をはじめ左翼の皆さんこのぐらいで驚いてもらっては困るね。
これから提出される予算案と法案はもっと大胆なものだから。

波乱の国会

平成5年 1993年 1月

官房長官の対中・対韓声明の翌日「平成5年度一般会計予算案」が提出したわけだが、その翌日更に重要法案を一気に提出した。その重要法案というのが、

「技術漏洩防止法」

「パチンコ違法化法」

「憲法改正に伴う国民投票法」

「国旗国歌法」

「改正生活保護法」

「改正教育基本法」

「医療費・教育費無償化法」

などだ。

一つづつ説明していこう。

まずは「技術漏洩防止法」

これは優秀な日本人技術者・学者が海外へ引き抜かれるのを防ぐための法律だ。

昨年制定した、スパイ防止法によって官民間わずスパイは取り締まれるようになったが、外国からのヘッドハンティングについては対策が遅れている。

そこで、企業・官庁には技術者の待遇改善を義務付け、特に重要な産業分野の技術者については出入国を制限できるようにするものだ。

次は「パチンコ違法化法」

名前は「パチンコ違法化」となっているが、実態はパチンコだけでなく民営のギャンブルを全て禁止して罰則付きで取り締まるものだ。まあ、そもそも現行法でも民間がギャンブルを運営することは許されていないのだが。

民営ギャンブルを全て禁止することで長年に渡って地方財政や国庫を潤してきた公営ギャンブルの収益（最近では競馬などの収益がパチンコ・パチスロの隆盛で売上が落ち気味）を守り、ひいては上げようということだ。

次は「憲法改正に伴う国民投票法」

これは、憲法改正には国民投票で過半数を得る必要があるのだが、その国民投票を実施するための法的根拠となる法律だ。

次は「国旗国歌法」

これは、日本国の国歌は「君が代」、日本国の国旗は「日の丸」で

あると定めたものだ。

ときに、何故左翼は国旗国歌に反対するのだろうか？

国家間での戦争ならば、戦意高揚・集団意識を高めるために国旗や国歌が使われるのは当たり前だ。

「国旗国歌」が戦争につながるのではなく、戦時となれば、「国旗国歌」が利用されるだけだろう。

「国旗・国家」自体が悪いのではないし、大体「国旗国歌」を戦争と絡める論理で行くならそれは他国にも当てはまるだろう。

何故、日本だけが国旗・国歌を廃止しなければいけないんだ？

アナーキーなのか？

次は「改正生活保護法」

これは、生活保護法のあり方を根本から変えるものだ。

簡潔に言えば、従来の現金支給型から衣食住の現物支給型への転換だ。

- ・住居は公営住宅を無料で貸し出す。
- ・食は標準カロリー分を配給。

・衣も自治体が住民から提供された古着や格安で購入した古着を現物支給。

・心身の故障や年齢で働けないもの以外で就職できないor働かない者はその自治体から格安の仕事やボランティアを一定量請け負う義務を課す。(これして格安の労働力を得ることができ自治体の住民サービスが金をかけずに向上を図れるというものだ。不足している民生委員とか増やせる。)

高齢者や病気を抱えて働けない人は別として、生活保護法での生活がまじめに働いている人より所得が多く楽な生活となつては不公平感が生じる。

「生活保護は最低水準の生活を保証するもので、楽しい消費生活を送りたいのなら生活保護での生活から脱出しろ」という方針を打ち出した。

次は「改正教育基本法」

これが、一番左翼の反発を招くものだな。
簡潔に言えば、内容は国が積極的に教育に関与していくというものだ。

市町村教育委員会を廃止して校長に権限を一部移譲、昨年の中央省庁改革で新設された文部科学省傘下の教育庁に強い権限を与え都道府県の教育委員会を教育庁の出先機関とする。

つまり、その地域での主体的な取り組み（保護者の学校への参加とか・郷土史の学習）は校長に任せ、国で一元的に行いたい教育（歴史教育・道徳教育・情報教育、メディアリテラシーなど）の為に教育庁を置くということだ。

また、教育庁を通じて全国の小中高高等学校・大学に適用する方針に「留年制度の積極的行使」を盛り込んだ。

詰め込み過ぎは良くないが、卒業や進級の基準が緩く留年もあまりないから知識を身につけられていないのも困る。

学校を卒業しておとなになった子供たちはやがて選挙権を持つわけだが、その主権者がアホでは国が傾く。国民全員をインテリにするのは無理でも水準を上げていきたい。

左翼の連中が言うことで、「勉強ができないのは個性として認める

べき。勉強ができない子でも料理が得な子もいれば、スポーツが得意な子もいる。」というのがある。

これはちゃんちゃらおかしい。

少なくとも小中学生で学ぶことというのは全て出来なければいけない。

基礎知識だからだ。基礎にムラがあつてはその上に何も積み重ねていけないし、だいたいそんな無知蒙昧な人間が国政に参加できるなんて考えたらおぞましい限りだ。

2009年の衆議院選挙の時だつてちゃんと主体的に物事を考えることが出来た人たちなら民主党の見通しの甘さを見抜いていたはずだが、大多数の大衆はマスコミや民主党の人気取りの迎合、パフオリマンスに騙された。

55年体制崩壊後の新党ブームだつてひどかつた。

マスコミ・政治家が政治改革を叫んで、反対派に旧守派とレッテルを貼り出来たのはザルだらけの政治資金規正法。

結局新党で政権を獲得するために「政治改革」という言葉を利用したようにしか見えない。

何故、市民革命の後、選挙権は財産と教養のある市民に限定されたか知っているだろうか？

学がなく、字さえ読めない大衆は先導されやすく方向を誤りやすいからだそうだ。

もったもなことだと思つ。

そして今は時代が移つて全員参加の民主主義の時代だ。

もはや制限選挙に戻るなどできない。

ならば、長い将来に渡つて大きく道を誤らず、国を安定的に存続させていくには主権者たる国民全体のレベルを上げるしか道はないだ

ろう。

次は「医療費・教育費無償化法」

無償化といつても年収1000万円以下の世帯だけだ。

財源は増税せずとも昨年集めたお金が845兆円ほど残っているから大丈夫だ。

将来的には国の収入を増やすしてそこから捻出するつもりだが、数年の間は貯金を切り崩して実施するしか無い。

因みに教育無償化の対象は公立私立の幼保（ただし宗教系は除く）と国公立の小学校・中学校・高校・大学だ。

私立大学の助成は現状、年間4000億円程度だが宗教系の大学は助成の対象外として規模も1200億円に縮小し、助成先はほぼ早慶に集中させるかたちとした。

残りの2800億円は全国の地方国立大学に定員増のために使うように指示して教育庁から交付する予定だ。

一般会計予算案では、防衛費を前年の約4兆5000億円（GDPの約1%）から9兆円（GDP比約2%）にした。

軍事費のたいGDP比は先進国で大体2%代、アメリカでも4%ぐらいだから、決して突出している訳ではない。

防衛費を増額したのは来る自主防衛に向けて防衛力を整えるためだ。ひゅうが型のような全通甲板のヘリコプター搭載護衛艦の2隻建造と今建造中のこんごう級をもう一隻建造することを考えている。

原子力潜水艦や原子力空母・通常動力空母は必要ない。

自衛隊は日本の周辺の海洋・シーレーンの防衛が目的なのだ。

80年代に中曽根康弘首相が打ち出したシーレーン防衛構想をそのまま踏襲すればいい。

・日本列島を取り巻く海峡（宗谷海峡・津軽海峡・対馬海峡）について完全な支配権を保持すること。

・ロシア・中国潜水艦やその他の海軍艦艇による通航を許さないこと。

・太平洋の防衛圏を数百海里拡大し、グアム - 東京および台湾海峡 - 大阪を結ぶシーレーンの確立をなすこと。

イギリスやアメリカのように本国から遠く離れた海に派遣する必要がないから（日本で言えば大西洋やインド洋）空母や機動艦隊に付いていける原子力潜水艦を持った所で使いようがない。ただの金食い虫だ。

だいたいこつちにはニュートロンジャマーや核融合炉の技術がある。まあ、口が裂けても言えないが。

まあ、この防衛費の使い道の方針防衛大綱で発表しよう。

数日後、新防衛大綱策定開始と大枠を発表。

大枠は

・冷戦時代に引き続きシーレーン防衛構想を踏襲。

・シーレン防衛・領海・排他的経済水域の資源防衛の為、対潜水艦戦、対機雷戦に重点を置く。

・上記の目的を達成するためにイージス艦・ヘリコプター搭載護衛艦などを始めとする護衛艦群の充実。

・機雷艦艇・哨戒艦艇を増勢

・潜水艦群の増勢

・要撃戦闘機・早期警戒機の増勢による領空侵犯に対する防衛の強化。

さて、俺は経済産業大臣兼外務大臣なのだが、民間から就任しているため議席はない。

なので出席できるのは所属している経済産業委員会と外務委員会の委員会審議ぐらいだ。

毎度のことながらアレルギーを起こして発狂している野党の対応は他の閣僚と予算・安全保障など他の委員会に任せる！

俺は大日本公社の事項で忙しいからな。

因みに、大日本公社は特別会計である。

愚か者達はよく騒ぐ

日本国東京都永田町

ある日曜日の昼下がり、永田町の車道を夥しいまでの老若男女様々な人々がシュプレヒコールを挙げながら行進している。

彼等の数は彼等の発表によると凡そ数十万人といったところらしい。

そして、彼等が目指す先は国会議事堂前とその目と鼻の先にある自由民主党本部だという。

では、彼等のこの行為の目的は何だろうか？

いったい、彼等は貴重な休日の午後を何のために、年が改まって間もない寒空の下での行進に費やしているのだろうか？

その答えは彼らが上げている声

「「「「
憲法改正を許さないぞー！！
「「「「

「「「「
憲法9条を守れー！！！！
「「「「

「「「「
国旗国歌法反対派！！君が代・日の丸反対！！！！
「「「「

「『教育基本法改正反対派！！』」

に耳を傾けければ分かるだろう。

若しくは彼らが掲げているプラカードに書かれている「軍靴の音が聞こえてきた」、「竹島は韓国領だ！！」、「自衛隊増強反対！！」、といった文字を見れば分かるだろう。

side 明智治

俺は今自民党本部ビル内の会議室で俺が集めた有志たちと会合を開いているのだが、それにしても外が喧しい。

「『領土紛争を煽るな！！』」

「『憲法9条を守れ！！！！』」

「『国旗国歌法反対派！！君が代・日の丸反対！！！！』」

「『竹島は韓国領だ！！！！』」

俺は堪らず席から立って窓際に立ちブラインドを指で押して外を見

る。

「竹島は韓国領って、明らかに日本人じゃない人も混じってるんですけど……。」

「総連・民団・日教組・連合・革マル派・中核派・全学連・反天連・革労協その他の共産系労組・進歩的文化人（笑）etc. 左翼の売国集団の大集合ですよ。」

後ろから一色にその声をかけられた。

「まあ、予想はしていましたがね。中韓でも反日デモの嵐だそうですよ。」

平井がそう付け足す。

因みに、一色と平井は俺と同年で都内の某国立大学を卒業後、中央省庁で働いていたのを俺が引き抜いてきた。

引きぬいてどうするかというと、接触して立派な志を持っていると分かった彼らに政治家になってもらうのだ。来年にある衆議院選挙でうちから出馬してもらおうつもりだ。

2004年以降ギアスは使えなくなるから党内の地盤を固めておきたいし、ギアスで反発がでない今のうちに党を改善しておきたい。それに俺がいなくなった後も党がうまく機能していくようにしないといけないからな。

2004年までにある数度ある選挙では70歳・80歳の先生方にはすこしずつ退場してもらって俺が見つけてきた若い有能な奴らを出馬させるつもりだ。

因みに俺が催しているこの有志の集まりは汐桜会という。

「くだらん。」

そう吐き捨てて俺は席に戻った。

・
・
・
・

3時間後

都内某所

俺は今、大日本公社の会合に参加している。

大日本公社の本部施設はつくば市内に建設中のため、都内の政府保有のビルの一部フロアに暫定的に大日本公社の本部機能を置いている。

さて、今日は先立って設立された各部門の当面の活動内容と技術開発の方針について話し合ったのだが、新たに決めたのは以下のとおりだ。

これから大日本公社で色々と技術開発をしていくことになるが（と
どうか技術自体は特典のお陰でもうある）、生産は各分野毎に民間
（三菱重工業・富士重工業・IHI・村田製作所・富士通・NEC・
日立製作所などに）に委託する。

そして、これからその民間との関係を強化していく中で、技術交流・
提供、共同開発、ノウハウの蓄積・共有などを行う。

公社やこれらの民間は国家公安委員会と共同で防諜を図る。

これらは、今回組織の方針として公式に決定したわけだが、去年から俺によって実行されている。

とくに、三菱重工業とは既に濃密な協力関係を構築している。

各部門の当面の活動内容は以下のとおりだ。

・エネルギー資源開発部門

静止軌道上で500万キロワット級の太陽光発電設備を複数も建設し、将来的には月の白夜地帯にも同様の設備を建設する。
発電した電力は、周回軌道上の送電衛星を経由して地上にマイクロウェーブで送電し各国に販売し利益を上げる。

・宇宙航空研究開発部門

三菱重工業との間でマストライバー・軌道エレベーター完成までの宇宙空間への輸送手段として昨年から進めていたHLEV・サラミス級、マゼラン級の開発・生産を一層すすめ、HLEVについては今年の9月に打ち上げる。

・生命科学・医学部門

1995年を目処にi p s細胞に再生医療を開始する。
i p s細胞による再生医療とは具体的に言つと、臓器移植などが必要な患者自身の細胞からi p s細胞と呼ばれる様々な体の部位に分化可能な細胞を作り出し、任意の臓器へと分化させそれを移植するというものだ。

これを実用化し臓器移植産業へと成長させれば、世界中から日本に患者押し寄せれば、外貨獲得・貿易収支の黒字拡大に役立つ。

・スーパーコンピューター研究・開発部門

量子コンピュータの開発は2000年を目処に開始
富士通、日立、NECなどのベンダーと協力しながらベクトル型・スカラ型・ベクトル・スカラ複合型のスーパーコンピュータの開発をすすめる。

プロセッサもアメリカのプロセッサに頼らず自国で開発する。
具体的に言うと、公社で開発して、ベンダーに生産を委託するとい
う形だ。

1995年までに実効性能35TFLOPS超の地球シミュレータ
を開発する。

2000年までに理論演算性能10PFLOPS超の京を開発する。

・海洋研究研究部門

日本近海の海洋資源調査をエネルギー資源開発部門と共同で引き続
き実施。

商業ベースで採掘可能な採掘モジュールを開発する。

よし、今月は国会も公社のこともだいたいいいな。

あとは、雛見沢の件だな。

今年が原作開始の年だから何も手を打たなければ、8月には雛見沢
が丸ごとなくなってしまう。

高野やトウキョウについて国家公安委員会に探りを入れてもらおう。
俺の原作の地職も曖昧だし、万全を期すために調べさせるべきだろ

う。

そうそう国家公安委員会は名前こそ変わっていないが、先の中央省庁再編とスパイ防止法制定で大幅に権限を強化されている。

また、先日国会に提出された来年度予算案では国家公安委員会の予算は倍増されている、加えて人員も増やされる事になっている。

2月中旬

東レ 愛媛プラント

深夜の工場の中へ次々と一台数十億円もする超精密工作機械やモジュール、工業用コンピュータが運ばれていく。

それらは機械というより人間といった方がよいほどデリケートで、防塵シートや防電磁フィルムで何重にも包まれており、作業員達はゆっくりゆっくり慎重に運搬していく。

この東レの愛媛工場は80年代から主に炭素繊維の生産を行なっている。

そして去年から、東レの属する三井グループ系列の銀行から実に数年間で3000億円にも上るの設備投資が行われている。

これ程までの巨額の設備投資は、もし失敗に終われば会社は確実に傾く。

この社運を賭けた事業は一体何であろうか。

それはEカーボンである。

昨年、東レに発足したばかりの大日本公社から従来の数十倍の強度・圧倒的な軽さを誇る全く新しい炭素繊維技術がもたらされた。

公社は、それを是非東レのプラントで量産して欲しいとのことであった。

量産化され次第、大口契約を結ぶ取り決めであった。

また、公社は生産にあたってはライセンス料を向こう数十年は取らない、数年以内に公社側が許可を出し次第、一般に公表・販売してもよくというなんとも太っ腹な取り決めであった。

これは、とにかく量産化に資本と労力を集中して、早く量産化して欲しいという公社の姿勢の現れであった。

また、将来輸出をどんどんして景気を良くしてもらいたいというのもあった。

また、公社は他社にも同様の話を昨年から持ち掛けていた。（但し、ものによっては一般向け発表・販売を劣化版に制限したり、全面禁止としたりしている）

京セラや三洋電機には〇〇世界の変換効率70%超の超高性能太陽電池を、

GSユアサにはCE世界の高性能バッテリーを、他にも国内の大手精密機器メーカーなどにガンダム世界の様々な技術の実用化・量産化のために必要な工作機械もるもる（これまでよりより精密だったり、新しい加工方法だったりする）やらの開発を依頼している。

工作機械機器メーカーには必要なら政府系金融機関である日本政策金融公庫から低金利での貸付も行うことにしている。

また、軍事性が高い様々な高性能合金や装甲、素材、兵器、核融合炉、ニュートンジャマー、艦船、MS技術などの開発・生産はほぼ全て三菱重工一社と公社の間で協力して進めている。

三菱重工業が国内の重工業企業の中で一番技術も資本も抜きん出ているし、重要技術は一社に絞った方が情報管理もしやすいからだ。もっとも、まずは宇宙に進出しなければ生産しようがない物もあるが。

まあ、三菱重工業には日本のアナハイム・エレクトロニクス社になってもらおう。

赤坂衛異動（前書き）

宮澤首相は「明智の言うことを何でも聞く」とギアスを掛けられています。が、人格が無くなったわけでは有りません。

赤坂衛異動

平成5年2月

国会の予算審議の方は、早々に中韓から此方の要請に対する拒否の姿勢が打ち出されたので、予算には中韓ODAが正式に盛り込まれないことになった。

その代わりに、東欧の旧衛星国や東南アジア諸国、インド、等へのODAを行うこととなった。

これは今年度に限った話ではなく今後もODAはこのように方針で臨むべく、新ODA大綱も作成し、それに盛りもんだ。

因みに、尖閣諸島には自衛隊の護衛艦数隻や海上保安庁の巡視艇数隻が警備のために張り付いている。

国家公安大臣を経由して俺に国家公安委員会から報告が上がってきた。

何故国家公安大臣を経由してかというとな国家公安委員会は俺の所管じゃないので直接指揮・命令出来ないからだ。

国家公安委員会のメンバーにもギアスを掛ければいいのかもしいないが、ギアスをかけるの出来るだけ最小限に抑えたい。

なぜなら、俺はギアスを日本人にかけることに罪悪感を覚えているからだ。

とくに、「日本国のために直向きに頑張っているかもしれない、いや大多数がそうであろう、官僚や公安の公僕達にギアスをかけるのはある種の裏切りではないのか？」と思われて仕方が無いわけだ。いままで、政治家や金持ちたちにギアスを掛けてきたが、それだつて心が痛まないわけではない。

しかしだ、兎にも角にも、もう足を踏み入れてしまった。

一度始めたら、もう後戻りはできない。

それは最初から分かっていたが、それでも、俺はやると決めたのだ。

さて、雛見沢症候群を生物兵器に転用すべく高野を使って秘密裏に研究を行わせている「トウキョウ」、その実体は意外なほどアツサリと掴めた。

防衛省管轄の委員会で、実体のない委員会として偽装された秘密委員会だった。

メンバーは主に防衛省・警察庁の退官官僚、防衛族、現役官僚も少々混じっていた。

悲しいな、雛見沢村を抹殺すべく動いている高野の親玉が日本国と日本国民の生命財産を守るべき公安関係の人間だったなんてな。

高野の研究を後押ししていたのは「トウキョウ」の小泉という重鎮だった。

しかし、その小泉は数ヶ月前に死亡、後ろ盾を失った高野の研究は三年後に打ち切られることが決まった。

この小泉という男旧陸軍出身でかなりのタカ派であったようだった。防衛庁時代は自衛隊が調達する武器の国産化にかなりの心血を注ぎ、何年も連続で武器輸出解禁・緩和を答申していたらしい。

ならば、小泉が高野の雛見沢症候群を研究を支援したのは恐らく「

生物兵器転用」を計画してのことであろう。
状況証拠も押さえられているし、そう推論するのが妥当だろう。

しかし、高野の死後「トウキョウ」の主導権を握ったのは親米派だった。

「もし、万が一これが露見して対米関係が悪化したらどうするんだ」
・「生物兵器などともない」などの意見が大勢を占め高野の難見沢症候群の研究は打ち切られることが決まったらしい。

公安の調査で判明したは今の時点で此処までだ。

しかし、俺の知っている原作知識によれば、この親米派が旧主流派の小泉グループを一掃するために高野を利用し終末作戦によって難見沢村を滅亡させるはずだ。

高野は、恐らく原作通り野村と名乗る女性によって終末作戦による難見沢滅亡という事実で祖父の論文を世界に刻むという道を示され、終末作戦の実行へ邁進しているのだろう。

高野は一度研究が頓挫しかけたことで錯乱していたのだろうか？、作戦が実行されれば野村の属する派閥によって口封じのため暗殺されるのは間違いないだろう。

彼女には憐憫の情を禁じ得ないが、無辜の国民が殺されようとしているのを黙って見ている訳にはいかない。

数日後

警視庁公安部

昼休み、妻が作ってくれた愛妻弁当を綺麗に平らげた後、赤坂衛は同僚達と廊下の自動販売機で買った缶コーヒーを飲みながら雑談を楽しんでいた。

そこへ、彼の部下の一人が駆け足でやってきた。

「赤坂警部、後藤警視総監がお呼びです。
すぐに警視総監室に来るようにとのことです。」

部下が赤坂にそう伝えた瞬間、赤坂は気持ち悪い冷や汗がこめかみから流れるのを感じた。

先程まで雑談を楽しんでいた同僚たちも表情が硬くなっている。
同僚達は何も言わず視線だけで「何かあったのか？」と存外に尋ねてくる。

赤坂はそれに「さあね？」のジェスチャーで返事をし

「警視総監殿がじきじきにか？
わかった、すぐに行く。」

内心の動揺を隠しつつそう答えた。

赤坂はそのまま駆け足で警視総監室へ向かい始める。

（まさか、雛見沢の件について勝手に嗅ぎ回っている事がばれたか

?)

警視總監室に入った赤坂は思わず息をのんだ。

なぜならそこにいたのは、

自分を呼び出した警視總監だけではなく、その警視總監の上の東京都公安委員会委員長のさらに上の国家公安大臣の更に上の宮澤喜一首相だったからだ。

総理の側には明智もいたが、目に入っていないようだった。

余りの予想外さに呆気にとられて言葉が出てこない赤坂。

それを見かねた宮澤の方から話し始めた。

「知っていると思うが、私が日本国内閣総理大臣、宮澤喜一。初めまして、だな赤坂衛君。」

「外務大臣兼経済産業大臣の明智治です。今日は首相の補佐として参加させて戴きます。」

「二、こちらこそ初めまして宮澤総理、明智大臣。警視庁公安部警部、赤坂衛であります。」

赤坂はやはり緊張している。まあ、無理からぬ事である。

「今回の呼び出しとその理由について、総理に代わり、私の方から話させて戴きます。」

・
・
・
・

「以上が雛見沢村とその風土病である雛見沢症候群、そして雛見沢村に潜伏している入江機関その後ろ盾の「トウキョウ」について分かっていることです。」

最後の終末作戦については推論の域ではありますが、可能性は充分にあると考えるのが妥当かと存じます。」

赤坂は、話を聞きながら「トウキョウ」に対してそしてそれを今までで感知できていなかった政府に対して怒りがこみ上げてきた。政府は今まで本当に知らなかったのだろうか？

現政権はそうでも何代か前の防衛族出身の政権時や、あの防衛族の有力議員が自民党内の最大派閥のトップであったあの当時は関係があり何らかの援助が行われていると考えるのが妥当ではないのか？いや、五年前、雛見沢のダム戦争が影響していると思われるあの誘拐事件の捜査を上からの命令で辞めさせられた、あの時の政権ももしかしたら・・・そうだ、そうでなければここまでの・・・。

赤坂がそう考えながら、沸々とある種の怒りを感じていた中、

「・・・故に、特例を以つて赤坂衛貴殿をして今日付けで国家公安委員会諜報部に異動せしむる。

赤坂さん、あなたは優秀だ。

是非国家公安委員会で力を発揮してほしい。

この雛見沢と「トウキョウ」の件、国家公安委員会での捜査指揮はあなたに任せます。」

赤坂に辞令が差し出される。

赤坂の脳裏に五年前の雛見沢での光景がよぎる。

「赤坂、東京へ帰れ。」

（梨花ちゃん・・・君を、雛見沢を守らなければ・・・。）

日本国民の生命財産を守るべき公安関係者の人間として当然の怒りを赤坂は飲み込み言葉を発する。

その表情は如何とも形容しがたいものであった。

「謹んでお受けいたします。」

赤坂は頭を下げ辞令を受け取った。

それし、頭を上げた時

「赤坂君。

私は・・・、私は、日本国内閣総理大臣として、日本国民の為の日
本国内閣総理大臣として、国民に対して、難見沢の人間に対して本
当に申し訳ないと思っている。」

宮澤が頭を下げながらそういった。

「天地神明に誓う、私は此の様な無辜の国民を犠牲にすような計画
には全く完全に関与していない、そして、政界、霞が関からこの計
画に関与したものを一掃し、「トウキョウ」を壊滅させると。」

「私からもお願いします。」

「はい。」

赤坂は静かに頷いた。

赤坂衛異動（後書き）

警視總監は「トウキョウ」には関与していません。

雑見沢、平成5年の夏1（前書き）

NHKで放送されている新日本風土記って知ってますか？かなりいいですよ。受信料払って良かったと思いました。

まあ、偏向番組はクソ食らえですが。

雛見沢、平成5年の夏1

平成5年 8月

日本国岐阜県雛見沢

夏らしい澄み切った青い空、照りつける太陽。
まさに盛夏、蝉の声がそれを一層実感させる。

一人の男が、畳の上に胡坐をかいて座ってテレビを見ている。
因みに、見ているのは夏の全国高校野球選手権大会所謂、甲子園。
夏の風物詩である。

縁側からはわずかならの涼風、そしてそれに揺らされた風鈴の音が
聞こえてくる。
が、それだけでは暑さを凌げないのか右手でうちわを仰いでいる。
男の目の前のテーブルには先ほど出された氷入りの麦茶が一つ。

カラン

氷が小さくなり、氷同士のモーメントの釣り合いが崩れコップの中
で氷が音を鳴らす。

男は人を待っているのだが、相手はなかなか来ない。まあ、この男
が約束の時間より数時間も早く来たのだから相手を責めることは出
来ないであろうが。

男は麦茶を一気に飲み干した。

「伊藤君、三ツ矢サイダー買ってきてくれー。」

「りよ、了解しました。」

「そんなに畏まらないでいって。年も近いんだしさ。」

・
・
・
・

「やっぱり夏は三ツ矢サイダーだなー。なあ、伊藤君。」

男はそう言いながら、コップに大きめの氷をたっぷり入れて買ってきてもらったサイダーを注いでいく。

シユーツと泡を立てながらコップの水位がどんどん上がっていき、溢れそうになった所で男は慌てて口をつけて飲み始めた。

「これって、冬とかにも偶に飲みたくなるけど、一口目で飽きてしまっただよなー。」

「そんな事ないかい？伊藤君。」

「はあ・・・そうでしょうか。」

さっきから、あまり会話が噛み合っていない。

男と伊藤君とやらは歳こそ近いが、上下関係が大き過ぎるからだろう。

男としては、沈黙するよりはマシだろうと思って初対面の伊藤君に結構積極的に話しかけているつもりなのだが。

男がちょうどサイダーを飲み終えた時、ようやく意中の人物がやってきた。

「おまたせしました。明智大臣。」

「さん付けぐらいでいいって、赤坂君。

ここなら尚更だよ。大臣がいるなんてばれたら騒ぎになるぞ。それに、君はまだまだ二十代に見えるから26の私をさん付けで呼んでも周りから見たら全然不自然じゃないぞ。」

そう言いながら手で合図して、赤坂に座るように促す。

「ま、それはさて置き今日は視察と直接報告を聞きに来たわけだが、どうなんだい？」

「やはり、「終末作戦」かそれに類する陰謀はまず有ると考えたほうが良いと思います。

決定的な証拠こそ有りませんが、東京で調査をしている部下たちの報告によれば「トウキョウ」の親米グループが何かしら画策しているのは間違いないようですし、鷹野三四は、山狗との接触が必要以上が多いところが怪しいです。」

赤坂と伊藤は国家公安委員会の人間であるが、雛見沢には、警視庁の人間であり、連続怪死事件の捜査をすると偽って入っている。

また、ちゃんと公安委員会から警視庁にも手を回して赤坂と伊藤は警視庁内での左遷部署の人間であり、彼らは有給をとっていることになっている。

また、彼らはわざと園崎を中心に嗅ぎまわっているので鷹野や山狗たちにそれほど警戒されてもいない。仮に警戒されて調べられても偽装された警視庁で冷遇っぷりを知ればとるに足らないと思うだろ

う。

「可能性は、大ということかな。」

「はい……。実は、……」

赤坂は頷き、そして何かの話を切り出そうとしたが、躊躇われて言葉が出てこない。

「どうした？赤坂君。」

「明智さん。」

実は、私は数日前までは、先程申し上げたように終末作戦は可能性大であると迄しか考えていませんでした。

しかし、私は昨日、終末作戦の存在を確信しました。信じられないような話と思いますが、ですが聞いていただけますか？

「まあ、まずは話してみてくださいよ。それから判断しますから。」

「実は、……」

・
・
・

「そうか……」

古手神社の一人娘がその様な……

普通ならば一笑に付すべきだろうが、・・・一度その古手梨花という少女に会って直に話を聞いてから判断したい。」
「
実のところ明智は、その真偽を知っている。
しかし、仮にも大臣という立場上また、常識に照らし合わせても、いきなり降って湧いたような話を信じる訳にはいかなかったのだ。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1469y/>

パトリオット（愛国者）が転生する話

2011年12月9日01時03分発行